

# 第12回教育委員会（定例）議事録

## 1. 開 会

令和2年12月22日（火） 14時00分

## 2. 場 所

市役所本庁舎4階 401・402会議室

## 3. 会議に出席した委員

教育長 前川 修哉

委 員 酒井 克典

委 員 中村 貴子

委 員 垣内 敬造

委 員 山本 恭子

## 4. 会議に出席した職員

部 長 稲山 悟

次長兼教育研究所長 酒井 宏

教育総務課長 中野 悟

学 事 課 長 森本 康幸

学校教育課長 尾松 直樹

東部学校給食センター所長 酒井 直隆

西部学校給食センター所長 石田 哲也

社会教育課長 小林 康弘

文化財課長 村上 由樹

中央図書館館長 樋口 裕昭

田園交響ホール館長 小林 純一

こども未来課長 中筋 有香

総 務 課 長 波部 正司

地域コミュニティ課長 谷掛 昭二

教育研究所副所長 方山 直人

教育総務課係長 田中 真紀子

教育総務課主事 河野 元秀

## 5. 議事日程及び議案

別紙の通り

## 6. 開会宣言 14時15分

## 7. 会 期

（自）令和2年12月22日

（至）令和2年12月22日 1日間

## 8. 会議録署名委員名簿

酒井委員

## 9. 閉 会 16時37分

前川教育長	日程第 1、令和 2 年度第 11 回会議録の報告、承認について意見等はないか。
全委員	異議なし。
前川教育長	全員異議なしで、会議録をこのとおり承認する。
前川教育長	日程第 2、会議録署名委員は 1 番酒井委員とする。
前川教育長	日程第 3、会期は令和 2 年 12 月 22 日、本日 1 日間とする。
前川教育長	日程第 4、議案に移る。議案第 1 号の「令和 3 年度当初予算案を市長に提案することについて」教育総務課説明を求める。
中野課長	《議案書に基づき説明》
中村委員	<p>新型コロナ対応で想定外の予備費が掛かってくるので、極力検討して対応してほしい。臨時の篠山東中学校の大規模改修工事は計画的に実施するものであるのか。不具合が生じて緊急で改修が行われるものか。</p> <p>田園交響ホールのピアノオーバーホールについて、昨年も整備がされていたと思うが、どのピアノで行われるのか。</p> <p>こどものおしろ関係予算について、多くの幼児に使用されなければ費用がもったいないことになるので、多くの幼児に活用して頂ける様、周知に努めてほしい。</p>
中野課長	予算書内で【臨】と記載している意味について教えてほしい。
稲山部長	<p>【臨】は通常の計上経費ではないものを示している。</p> <p>【臨】については、毎年計上しているような費用（経常的経費）と、単年度で発生するような費用（臨時的経費）を【臨】として表記して、財政部局で区別している。そのため【臨】は突発的な案件で計上しているものもあれば、計画がなされた上での計上もある。学事課での篠山東中学校大規模改修工事は、計画がなされていたが、次年度のみ発生する経費（臨時的経費）という意味合いで【臨】の記載がなされている。</p>
小林館長	ホールには舞台用のピアノが 2 台あるが、前はスタンウェイピアノをオーバーホールし、来年度はヤマハの C7 ピアノをオーバーホールする予定である。
中筋課長	こどものおしろの関連予算は、約 900 万円を計上している。これは、ほとんどが人件費である。今年度、施設改修工事を行っており、先日から指導員の募集を開始したところである。子どもたちが安心して通所できる準備を進めていきたい。
酒井委員	学校の大規模改修の目安を教えてほしい。また、篠山東中学校の築年数を教えてほしい。
森本課長	基準はないが、耐震基準など国の制度等が変わった時期、また施設の劣化

酒井委員	<p>具合を考慮して計画的に改修を実施している。篠山東中学校は、平成 10 年に開校され、22 年が経過した。</p> <p>計画をたてて実施していることは理解できるが、生徒数の減少などを踏まえて将来の統廃合も見据えて改修を行ってほしいと思う。改修してすぐに統廃合となると費用の効果が薄くなる。多額の費用を使用するので、過小規模の学校をどのようにしていくのかというような視点も持ったうえで、本当に必要なものに予算を投資してほしい。もし、篠山東中学校が生徒数減少のために統廃合の検討がなされるとすれば、校舎の位置等を考慮してもおそらく篠山中学校へ統合される、篠山中学校が使用されることが予想される。今後の学校のあり方もしっかりと整理する必要もあるのではないだろうか。</p> <p>小学校管理費の木製机イスに関する経費を教えてください。</p>
森本課長	<p>木製机イスについて、令和 3 年度は 350 組、880 万円の費用を予定している。</p>
酒井委員	<p>毎年同程度の費用が必要であり、幼稚園でもさらに経費が掛かると思う。本当に効果があるのか疑問に感じるところがある。子どもが木に触れること、丹波篠山産木材を活用することは重要であるが、もっと重要なことがあると思う。本当に必要なことは人員の配置であると思う。人手不足で苦勞していることが多々あると思うので、本当に必要なことを精査して、そこにお金をかけてほしいと思う。</p>
樋口館長	<p>市史編さん事業は何年計画の予定であるのか。多額の費用が必要であると思うが、合計でどれだけの費用を要するのか教えてください。</p>
前川教育長	<p>市制 30 周年時に完成予定で、今後 8 年間でかけて完成予定である。概算で約 2 億 5 千万円の経費が必要である。</p> <p>酒井委員の発言について、統廃合を検討したうえで、篠山東中学校の大規模改修をすべきという趣旨の意見であると捉えた。現時点では、統廃合についての議論は行われておらず、小規模校であっても各学校へ通う子ども達の教育環境を整えることは必要であると考えている。教育委員みなさまの意見を反映して、事務局は動くこととなる。他の委員はどのように考えるかも聞きたい。</p>
酒井委員	<p>補足説明を行う。子ども達が不利益を被る場合は、もちろん対応していかなければならないが、篠山東中学校の大規模改修を否定しているわけではない。少子化が進むと様々な問題が発生してくるので、様々な面から総合的に考えて、10 年後を見据えた将来的なビジョンも併せて描きながら、予算措置はしてほしいということである。</p>
前川教育長	<p>市史編さんについても、短期でできるものではなく、積み上げて作り上げるものであり、費用も必要なものであると考えている。</p>
稲山部長	<p>市史編さんについては、今年度から本格的な作業に取り掛かり 10 年計画で編さんを行っていく事業である。販売を行うのかなどまだ未確定な部分もあるため、多少の費用変動はあると思われる。</p> <p>編さんに携わる歴史専門家の意見では、これまでの旧町史は、丹南町史以</p>

	<p>外は十分な内容ではないとのことであり、丹波篠山市は歴史的に見ても後世に残すべき史実がたくさんある地域であるとのことである。編さん委員会では、日本一の市史をつくりたいという思いをもって作成していくとのことであるので、その思いも汲みながらも、酒井委員の意見のとおり、必要なものを見極めて費用の削減も図りたい。</p>
酒井委員	<p>一般財源から支出されており、多額であるので、市民が納得できるようにしてほしいと思う。</p>
中村委員	<p>市史編さんについて、作成するだけでなく、活用することが重要であると思う。商工や観光にも活用して利益をあげることにも繋げてほしい。</p>
前川教育長	<p>プロセスが大切であると思っている。丹波篠山の歴史をとりまとめることがアイデンティティやふるさと教育にも活用できると思う。2億5千万円を使って、何十倍にも利益になるような活用方法を様々な人と協議をして決めていかなければならないと考えている。作成のプロセスで市民やこれからの丹波篠山を担う人を巻き込んでいかなければならないと思っている。教育委員会だけでなく、市長部局、特に公民館で作成すべきものであると考えているので、市長とも協議をして作成していきたい。</p>
垣内委員	<p>歴史に学術的な裏付けを付けることが重要である。正しくない知識を取りまとめたら、正しくない知識を広めることになる。正しい史実をとりまとめることが市民のアイデンティティの醸成にもつながると思う。</p>
前川教育長	<p>山形県鶴岡市はユネスコ食文化創造都市に認定されているが、地場の食文化を調べあげ、それを現代の栄養学に関連させ、地場の伝統をさらに昇華させていっている。自治体は、このように地域の強みを示していかなければならなくなっており、丹波篠山市も市史編さんを通して示していきたいと考えている。そのため通史編も重要であるが、どのように地域が起こり、民族がどのように過ごしてきたかを明らかにする地域編に重要性を感じている。教育委員の意見を踏まえながら進めていきたいので、今後ご意見いただきたい。</p>
山本委員	<p>学校教育課の学習支援事業の不登校支援と学校地域連携事業の外国人児童に対する母語通訳・翻訳及び初期日本語支援事業委託について教えてほしい。</p>
尾松課長	<p>不登校支援はゆめハウスに係る経費で、外国人日本語支援事業委託は、国際理解センターへの委託に係る経費となっている。</p>
垣内委員	<p>社会教育課のオリンピック・パラリンピックに関する経費は、令和2年度に計上していた予算は使用せず、令和3年度に持ち越して使用するのか。</p>
小林課長	<p>令和2年度に警備計画を立て、予算を執行した。こちらは、令和3年度においても使用できるということであるので、そちらに係る経費は、令和3年度は計上されておらず、他の経費は令和3年度も計上している。</p>
垣内委員 村上課長	<p>今年度の執行残額については、補正予算で減額をしている。</p> <p>文化財課の予算には関係がないが、元旦の能は開催されるのか。</p> <p>元旦に開催される翁能は、商工会が主催で行っており、新型コロナ禍のため、今年度は開催中止である。来年度の4月に開催される春日能は席数を減</p>

酒井委員	<p>らし、指定席として実施を予定している。</p> <p>「丹波篠山の教育」を踏まえての予算であると思う。コロナ禍を経た上で「丹波篠山の教育」が変わってくることもあると思う。あくまで予算案であるので、再協議をして、決定してほしい。</p>
前川教育長	<p>議案第1号「令和3年度当初予算案を市長に提案することについて」異議はないか。</p>
全委員	<p>異議なし。</p>
前川教育長	<p>全員賛成で、議案第1号の「令和3年度当初予算案を市長に提案することについて」を可決する。</p>
前川教育長	<p>議案第2号の「丹波篠山市篠山伝統的建造物群保存地区保存計画の一部変更について」文化財課説明を求める。</p>
村上課長	<p>《議案書に基づき説明》</p>
垣内委員	<p>竹藪の環境物件の指定について、竹藪はすぐに繁茂してしまうと思うが、管理はどのように持ち主に依頼をするのか。</p>
村上課長	<p>環境物件については、原則所有者の管理であるが、地域で草刈り等の管理をする形式をとっている土地もあり、それに対して補助や支援を行っている。</p>
前川教育長	<p>議案第2号「丹波篠山市篠山伝統的建造物群保存地区保存計画の一部変更について」異議はないか。</p>
全委員	<p>異議なし。</p>
前川教育長	<p>全員賛成で、議案第2号の「丹波篠山市篠山伝統的建造物群保存地区保存計画の一部変更について」を可決する。</p>
前川教育長	<p>日程第5、協議事項に移る。協議第1号【「令和3年度丹波篠山の教育」(素案)について】教育総務課説明を求める。</p>
中野課長	<p>《議案書に基づき説明》</p>
中村委員	<p>「P.1 子育て一番に向けて」についてどんな子どもを育てたいという思いを持って方向性を明確にして取り組む必要があると感じた。</p> <p>園の増築改築について、待機児童の対策として増改築を計画されているが、もう少し計画的に増改築していく必要があるのではないだろうか。</p> <p>「子どもたちが夢をもって健全に育つには、家族の温かい雰囲気と深い信頼関係」とあるが、働く保護者が求めるのは、安心できる保育環境の整備であると思う。どの園に通っても一定の教育を受け、小学校までの基礎能力が身に着くことを強く望んでいると思う。</p>

<p>中筋課長</p>	<p>「P.2 食育の推進」について、他市の食育の状況を参考にして「なぜ食育が大切なのか」を記載しつつ、もう少し具体的な説明を加えても良いと思う。</p> <p>「食に関する教育の推進する」だけでは何を食べて大きくなり、病気に掛からない強い体を作れるのか伝わりにくい。「新型コロナウイルスに負けない体を作るための食材」など、身近な所にヒントはあるはずであると考えます。</p> <p>「P.3 高い自己肯定感を持ち、他者を大切にできる園児を育てるために」について、他者に優しくするには、「まずは己の強さ。優しさは強さを持ち得て漸く取得できるもの」ということを親と共有してほしい。そのために保護者は、子供を困難から守り、全てを取り払うのではなく「何事にも立ち向かう強さを育てる」ことが大切である。保護者に応援団となってもらう努力が必要かと思う。</p> <p>「P.4 地域社会が保護者に寄り添い、子どもの成長、親自身の成長に対し、喜びや生きがいを感じる体制づくりを進める。」とあるが理想論であると思う。厳しいが、まずは園が目指す保護者のあるべき姿を伝え、理解頂き目的に向かって共に協力に導く流れが一番大変だが、結果的には我が子が自立し、子育てに満足と充実感をもたらすと思う。幼児期に守るだけ守り抜き、高学年で手に負えなく成り子供を放棄した結果、「誰かこの子を見てあげて」と親の愛情が無くなり、子供がいじめや暴力に走るように思う。</p> <p>また、働く母親が安心出来る環境作りが確立出来れば「丹波篠山の子育て世帯は絶対増える」と思う。現場の子供達を見て、不足している点、伸ばす点について時間を掛けて見てほしい。残念ながら、この素案から丹波篠山の幼児達がキラキラ光り輝いている様子が見えてこない。</p> <p>「P.11 長時間のインターネットゲーム」について、コンピューターが学ぶ道具であり成長するツールとしてほしい。デジタル時代に突入する世の中においては、子供達の理解と同時に周囲の大人の指導も必要になる。</p> <p>「P.27 家庭教育支援事業の実施」について、学校内トラブルに発展する前に活用してほしい。事業を充実させ、保護者が気軽に早期に相談できる窓口であってほしい。相談窓口を知らない保護者が多すぎる。文面にある様に「地域と連携して家庭教育の大切さを学ぶ機会と情報を提供します」ということを目標で終わらせないでほしい。</p> <p>「P.32 中高連携の推進」について、成果が感じられない。地元高校への入学者が減ってしまっただけでは、取り戻せない。また、大学との連携「スクールサポーター制度」の充実も期待している。</p> <p>「P.49 学校給食の充実と食育の推進」について、地元産食材を生かした給食で全国給食甲子園優秀賞を受賞しているので、「丹波篠山市は食育に力を入れていること」を前面にアピールしてほしい。同時に味も美味しく食べ残しが少ない事もアピールしてほしい。</p> <p>いただいた意見を参考にしながらこども未来課としての方向性について、保護者が分かりやすいように記載を改めたい。</p>
-------------	--

谷掛課長	<p>「赤ちゃんがきた！」についてご意見をいただいたと思うが、健康課等の関連課と協力して、周知と内容充実に努めたい。</p>
酒井委員	<p>コロナ禍を経てこれまでと違った教育方針が必要であると思うが、令和3年度の「丹波篠山の教育」はどういった方向性で作成し、特にどこに力を入れていきたいのか教えてほしい。</p>
中野課長	<p>GIGAスクール構想を踏まえた教育のICT化と部活動の問題を絡めた学校の働き方改革に力を入れていきたいと考えている。</p>
酒井委員	<p>コロナ禍で家庭環境による教育の格差が浮き彫りとなったように思う。  子どもの学力と塾は大きな関係性がある。塾に通える家庭というのは、比較的裕福な家庭である。丹波篠山市は秋田県を参考にしているということであるが、秋田は塾に通う子は少なく学校教育にて学力を伸ばしていることが証明されている。これは非常に良いことであると思う。学校で学力を伸ばすためには、教員がより良い環境で働き、多くの時間を子ども達に関わることが必要であり、そのためには働き方改革が必要である。  科学的根拠に基づいた施策を打ち出すために教育研究所等でしっかりと検討してほしい。幼児教育の推進を推し進めていく必要があり、幼児教員に関わる職員の専門性を高めていかなければならないと思う。こども園化についてもしっかりと議論を行い、専門性を持った管理職の配置、兼任園長の廃止も視野に入れてほしいと思う。教員の働き方改革と幼児教育の推進等、視点を絞って対応してほしいと思う。  中村委員と同意見で市民が分かりやすい言葉を使う必要があると思う。例えばP.3の「同僚性」など普段使用しない言葉で理解しにくいと思う。  環境教育の重要性が増している。環境教育に関する項目の充実をしてほしい。</p>
前川教育長	<p>共働き家庭の親と子どもがどのように関わるのか、また地域がどのように子どもと関わるのかなども触れていければ良いのではないかと。  来年度の幼児教育で特筆する取り組みとして、「あそぶっく」が挙げられる。四季の移ろいを五感で感じながら遊びを通して学ぶことが非常に重要であるとコロナ禍の中で再認識した。現在、公私の園が共になって「あそぶっく」を作成に取り組んでいる。</p>
垣内委員	<p>「P.4 放課後児童健全育成事業の充実」について、教育委員会の方針として、児童クラブの利用者の公平性を維持する方向性で進められていたと認識している。そういった方向性を記載したほうが良いのではないだろうか。また、公設化が進んでいくことが予想されるが、そのことについても記載をしなくても良いのか。  「P.11 デジタル・シチズンシップ教育」内の③での記載、「長時間のインターネット利用～」の部分で、インターネット利用は本人が意図しないうちに使用している場合や生活の中で一般的に使用している場合もある。遊戯用での使用や娯楽的な使用をさけるような表現に改めたらどうか。  「P.12 自然学校の充実」で「生きる力」を改めて「豊かな情操」と記載</p>

山本委員	<p>してあるが、「豊かな情操」に加え、「生きる力」が持つ意味も必要であると思うので、表現を再考してはどうか。</p> <p>「丹波篠山の教育」が非常に緻密に作られた計画であり、感心した。ただ、中村委員、酒井委員の意見のように、難しい表現を使えばより読むことが難しくなると感じた。</p> <p>ここで意見することではないかもしれないが、「P.4 子育て何でも相談プラザ」について、丹波篠山市にはたくさん相談箇所があってよいと思うが、いざ相談窓口に行くと相談者に対して寄り添った対応ができていないという意見も聞く。せっきくの相談窓口であるのに、人員不足で対応に時間を割けないのではないかと思う。</p>
酒井委員	<p>P.4内の「側面的支援」など言葉が難しい。また、「P.7 読書活動の充実」について、指標の作り方を再考してほしい。指標を掲げる以上はどのようにしたら達成できるのか分析する必要があると思う。「P.31 教職員の勤務時間適正化及び業務の効率化の推進」について、タイムカードや留守番電話の導入についても検討してほしい。</p>
前川教育長	<p>頂いた意見を参考にして、事務局にて再検討を行いたい。働き方改革を導入するにあたり、現場の状況を加味して対応することが必要である。それらを踏まえて本当に必要なものを対応していきたい。</p>
前川教育長	<p>日程第6、報告事項に移る。報告1「寄附採納について」教育総務課報告を求める。</p>
田中係長	<p>《議案書に基づき報告》</p>
前川教育長	<p>報告2「後援名義の承認について」教育総務課報告を求める。</p>
田中係長	<p>《議案書に基づき報告》</p>
前川教育長	<p>報告3「第121回丹波篠山市議会師走会議一般質問について」教育総務課報告を求める。</p>
中野課長	<p>《議案書に基づき報告》</p>
前川教育長	<p>報告4「小中学校児童生徒の問題行動等について」学校教育課報告を求める。</p>
尾松課長	<p>《議案書に基づき報告》</p>
中村委員	<p>小学生の問題行動について、内容が気になる。担任と保護者が意識、情報を共有して早期解決を図ってほしい。中学校の部活内でいじめがあったとい</p>



酒井委員	うことであった。スポーツマンシップのようなことも部活内で指導してもらえたら良いと思う。
尾松課長	<p>小学校での対応が遅くなったとの報告があったが、理由が分かれば教えてほしい。</p> <p>中学校には生徒指導に係る加配教員の配置があるが、小学校にはその加配教員の配置がない。近年、問題行動の低年齢化が進み、中学校で起きていた事案が小学校でも起きようになっている。問題行動が発生した場合、小学校では、学級担任をしながらの対応となり、問題が複雑化すると、対応が長期化することもある。また、小学校には、生徒指導という文化が根付いておらず、組織で対応することの難しさを感じている。本市においても、小学校における生徒指導体制の充実という点で課題が露呈している。</p> <p>担当指導主事を派遣し、管理職と共に校内体制の充実を図ること、また、生徒指導力向上に向けた研修会等を実施するなど、課題解決に向け対応している。</p>
前川教育長	報告 5「令和 2 年度 12 月小・中・特別支援学校定例校長会について」学校教育課報告を求める。
尾松課長	《議案書に基づき報告》
前川教育長	報告 6「感染リスク低減に向けた学校(園)運営のガイドライン(Ver. 4)～「丹波篠山市学校(園)の新しい生活様式」～について」学校教育課、こども未来課報告を求める。
尾松課長	《議案書に基づき報告》
酒井委員	丹波篠山市、丹波市の感染者が増えていることが気になる。保健所が公表していないため致し方ないが、状況を知ることは大切であると思うので情報収集に努めてほしい。
酒井次長	保健所からは情報が入っていないが、感染者および濃厚接触者には直接保健所から情報が入ってくる。各学校園では情報を知っておく必要があると思うので、そういった情報を収集するように指示している。それらの情報を教育研究所でインターネットを使用した情報収集システムを整備し、すでに運用している。個人情報については十分に留意したうえで、各校園長に情報を伝達できるように整えている。
前川教育長	報告 7「第 15 回全国学校給食甲子園決勝大会の結果について」東部学校給食センター課報告を求める。
酒井所長	《議案書に基づき報告》

中村委員	2年連続の受賞は快挙であると思う。地元の特産品をたくさん使用しており素晴らしく、地域・学校が関連して取り組んでいる様子はコミュニティスクールの目指すものであったと思う。
垣内委員	昨年はお祝い会を開催した。今年は、人が集まる機会をつくることは難しいが、お祝い会を設ける予定はあるのか。
酒井所長	今回は優勝、準優勝などの入賞ではないこと、新型コロナウイルスのことも考慮して、大きなお祝い会は予定していない。
垣内委員	難しいと思うが、ねぎらう機会は設けてほしいと思う。
酒井委員	昨年度優勝し、今年も優秀賞をいただけるということは、丹波篠山市の給食が評価されている証拠であると思う。これを踏まえて丹波篠山市の食材の良さもアピールしてほしいと思う。
酒井所長	今回使用した農都めぐみ米は継続して使用しているのか。 可能であれば継続して使用できれば良いのだが、JAとの関係もあるので、継続して活用ができていない。
酒井委員	継続して使用することで環境への配慮にもなることと、生産者たちの喜びや誇りにも繋がると思う。可能であれば使用してほしいと思う。
山本委員	子ども達が美味しい給食を食べられることを喜んでいる。丹波篠山市への愛着にも繋がると思う。感謝している。
酒井所長	来年度は、給食の献立本を発行できればと考えている。この2年間の活躍をまとめるとともにPRにもなればよいと考えている。
前川教育長	報告8「第16回丹波篠山市展の実績報告について」社会教育課報告を求める。
小林課長	《議案書に基づき報告》
中村委員	動線がよく見やすかった。来場者も作品の多さに驚くコメントをしていた。非常に良かったと思う。オンライン講評について、モニターの位置をもう少し高く設置してほしいと感じた。
前川教育長	報告9「教育長報告」をする。  それでは、第12回定例教育委員会をこれで終了する。